

## 令和4年度 第3回駒ヶ根市地域公共交通協議会 会議録

【日 時】 令和5年3月27日（月）午後1時30分～

【場 所】 駒ヶ根市役所 本庁舎2階 大会議室

【出席委員】 14名（欠席：玉川博之委員・竹村清明委員・小原昌美委員・高澤陽委員  
鳥羽秀行委員・玉巻史成委員・石坂公明委員）

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

- 今年度は公共交通計画の2年目として、山麓周遊EVバス実証実験や、こまタク予約配車システムの実証実験など、新たなチャレンジをすることが出来た。収集したデータを踏まえ、次年度の事業計画や予算へ反映している。
- いよいよ本格的なウィズコロナ時代が到来する。公共交通を取り巻く環境の変化のタイミングと捉え、市全体として持続可能な公共交通ネットワークの構築を進めたい。
- 昭和伊南総合病院の移転を控え、基幹となる路線等について、来年度以降、検討を開始していきたい。

### 3 協議事項

#### (1) 令和4年度主要事業関連

- ① こまタク運行状況 資料1-1 資料1-2
- ② 運転免許証自主返納支援事業 資料2

(質問等なし) ⇒ 全員挙手(承認)

#### (2) 令和5年度事業関連

- ① 駒ヶ根市地域公共交通協議会事業計画(案) 資料3
- ② 駒ヶ根市地域公共交通協議会予算(案) 資料4
- ③ R5 駒ヶ根観光周遊バス実証実験(案) 資料5-1 資料5-2

村瀬委員より質問

- ・ 次世代運行システム費について、ここ2年と違い110万円と予算減少しているが開発費部分が無くなり運用のみで減少しているという認識で良いか。

⇒ (事務局回答) ご認識のとおり。

- ・ デマンド交通運行委託費が令和3年度決算実績と乖離しているように見受けるがどのような要因か。委託費は経費-収入ということは、経費が増え、収入が減るという試算なのか。  
⇒ (事務局回答) 運行委託費及び、経費、収入は実績による部分があり、当初の予算段階では前年度実績どおりに組むことは出来ない。なお、令和4年度実績については次回の令和5年度第1回の協議会でお示しする予定。
- ・ 観光周遊バス実証実験の予算が、令和4年度EVバス実証実験の報告にあるシミュレーションの内容より小額となっているがどのような要因なのか。  
⇒ (事務局回答) 委託予定事業者所有の車両を使用するという面や、その他事業開始初年度として必要な経費を踏まえ積算した結果の予算であり、シミュレーション結果をそのまま予算に反映はしていない。
- ・ 観光周遊バスは地元市民還元が見えづらく、理解が得られにくいと考える。また、黒字化を見据えての実験なのか。  
⇒ (事務局回答) 黒字化かどうかは単年度で検証、必要な検討を協議会にて行う。収支部分以外にも需要がどの程度あるのかを重要と考えている。市民還元という観点では、市内全体の交通ネットワークの一つとしてとらえ、今後の新病院の関係などと合わせてお示ししていけると考えている。

下平委員より意見

- ・ 観光周遊バス事業については、まだまだ実証段階なので黒字化は現段階で意識する必要はないと考える。

(その他質問なし) ⇒ 全員挙手 (承認)

4 その他

5 閉会